

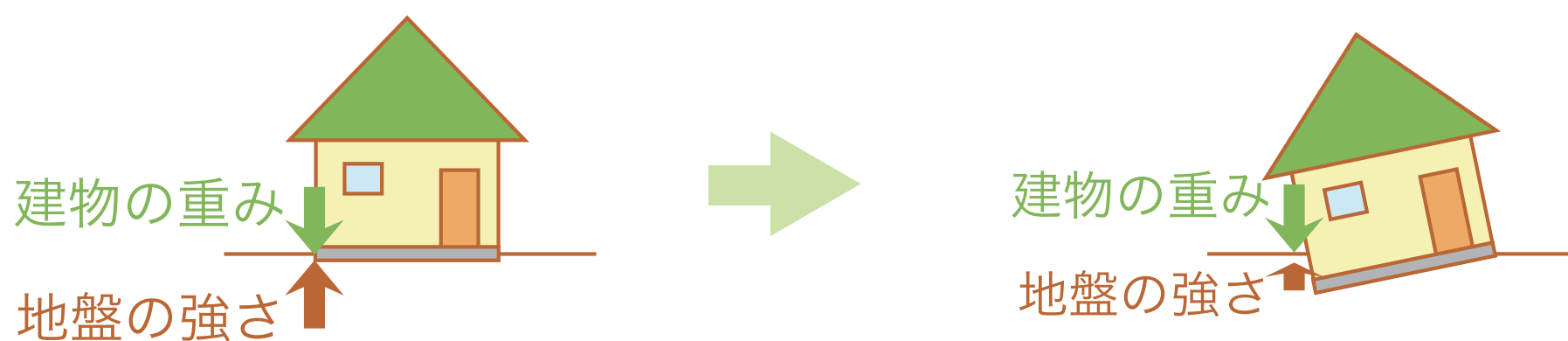
不動沈下とは

建物を建てる時にはその重みに耐えられるしっかりとした地盤が必要です。軟弱地盤は不同沈下や地盤沈下を起こす可能性があります。

不同沈下とは建物が不揃いに沈下を起こすことを言います。家全体が均等に沈下するのではなく、一方向に斜めに傾いたような状態です。

また不同沈下によって家が傾くと、日常の生活にも支障をきたします。ドアやサッシの開け閉めが困難になったり、雨が吹き込み建物の劣化が進み耐震性能が著しく損なわれる可能性もあります。不同沈下が起こると、建物に多大な被害をあたえます。その理由は本来、水平・垂直を保って設計した建物の構造を支える部材が、不同沈下によって一ヶ所に重荷が集中し無理が生じるからです。

▶ 不同沈下は軟弱地盤でおこります。



住宅を建てた場合、基礎と地盤の接面上で、建物の重荷とそれを下から支える地盤の強さ（地耐力）が力比べをします。その力比べで、建物の重荷に対して、地耐力が弱いと建物を支えきれず沈下が始まります。逆にこの力比べで地盤が勝ると、良好な地盤であることとなります。従って、地盤のことを何も気にせず不用意に建物を建てると、後で大きな問題が発生する可能性があります。

▶ こうなったら要注意

1. 外壁に亀裂が発生
2. 基礎・土間などに亀裂が発生
3. 壁と柱の間に隙間が生じ・内壁やタイルに亀裂が入る。窓やドアの接合部分に隙間が生じ、外部構造に被害が生じる。
4. 柱が傾き、建具の開け閉めができなくなる。床が傾斜して支障を生じる。
5. 柱の傾斜が激しく倒壊の危険がある。床の傾斜もひどく、使用困難になる。